



2022年10月1日発行  
 (毎月1日発行)  
 1984年8月15日第3種郵便物認可  
 発行所 / (公財) 熊本YMCA  
 〒860-8739  
 熊本市中央区段山本町4-1  
 Tel 096-353-6397(代)

# YMCA NEWS

# 10



YMCAながみねファミリーセンター 水泳クラブリーダー  
 大学4年生

田口 雄太 さん

## 子どもたちの笑顔を見たいから

「実は、子どもの頃は水が苦手だったんですよ。お風呂も怖かったくらいです」と笑うのは、田口雄太さん。「なしリーダー」として、ながみねファミリーセンターで水泳クラブ\*の子どもたちを指導しています。高校3年生の2月からリーダー活動を始めた田口さんは現在大学4年生。YMCAとの出会いは小学1年生の時にさかのぼります。

「親にすすめられてYMCAの水泳教室に。運動は得意なほうではなかったけれど、少しずつ泳げるようになると、次第に楽しくなりました」。中学生までYMCAの水泳クラブに所属。高校時代はウエルネス会員として水泳を続け、今に至ります。

田口さんにリーダー活動を始めた理由を尋ねました。「中学3年生の水泳クラブ卒業の時に、当時お世話になっていたリーダーが記録表に『リーダーとして戻ってくるのを待ってるよ』と書いてくれたんです。これを見た時から『僕はいつかここに戻ってくるんだ』と決めていました」。水泳教室では、1年間を3期に分けて各学期末にワッペンテストを行い、身につけた技術に応じてワッペンを渡します。「はじめて自分が渡す立場になった時、ワッペンをもらった子どもたちの笑顔を見て『この笑顔をもっと見たい』『もっとたくさんのクラスに入りたい』と思いました」。

\*水泳クラブ/リーダーの推薦を受けた小学生～中学生が所属。公式大会に出場するとともに、ボランティア活動にも取り組む。

## 子どもたちの自信と人間性を育てたい

### 一人ひとりに寄り添う

リーダー活動を始めて、さらに水泳が好きになったという田口さん。「自分ができないと教えられないので」と、今もクラスの合間をみて練習をしています。YMCAの指導はフォーム重視でグループ制。それぞれの個性に寄り添うためにリーダー仲間と相談しながら指導法を考えるといます。「以前は長い距離を泳げば上手になると思っていました。でも過度な練習は小学生の身体にとって負担が大きいし、故障すれば成長の妨げにもなります。水泳は長く続けられる生涯スポーツだから、今をゴールにしたくない。子どもたち一人ひとりの成長段階に応じたベストを目指したいです」と真剣なまなざしで語ります。

子どもたちと接する中で、時には悩む事も。「始めは子どもたちに嫌われるのが嫌で、叱ることができませんでした。今でも厳しくしないといけない時が一番辛いです。本当はいつもやさしいリーダーでいたい。自分が子どもの頃にお世話になったリーダーの気持ちがわかるようになりました」。田口さんが叱る時は他のリーダーがやさしく接するなど、皆で協力しながら子どもたちを見守っています。「大切にしているのは挨拶です。水泳だけでなく礼儀も大切にする。これもYMCAのよいところ。YMCAは人間性を育てる場所だと思っています」。



### いいところを見るのがYMCA

大学卒業を控え、残り数カ月のリーダー活動。今の目標を尋ねてみました。「子どもたちには、YMCAでの経験によって自信と自己肯定感を持ってもらいたいです」。大会に出場した後に、自分のよかったところと反省点を振り返ってもらおうと、悪いところはたくさん出るのに、「いいところはない」と答える子どもが多いといいます。「僕もそういう子どもでした。でも悪いところじゃなく、いいところを見るのがYMCA。今、関わっている子どもたちが、自分のいいところを言えるようになってほしい。それが、残りの時間でできることだと思っています。水泳クラブではペアになってお互いの泳ぎのいいところを伝えあうなどしています。自信がつくと子どもたちはいろんなことにチャレンジできますよね。たくさんの成功体験をして、自己の可能性をもっともっと広げてほしいです」。

4月からは社会人。理学療法士としてケガや病気で身体に障がいのある人の自立を支援します。「病気の時には悪い所ばかりに目が行くけれど、僕は患者さんのいいところを探すのが得意なようなんです。『いいところ探しがうまい』と実習の時に褒められました。これはYMCAで身につけたことです」と田口さん。「今、一番楽しいのが水泳クラブのリーダー活動なんです。YMCAでたくさんの仲間にも出会いました。社会人になって時間に余裕ができれば、またボランティアリーダーとして戻ってきます」と力強く語ってくれました。

スポーツスクール  
 野外活動リーダー  
 登録はこちら



## Pickup

### サザンフェスタ特集

ぶどうの木幼稚園の  
 園児たちが  
 オープニングに登場



何が当たった?  
 ワクワクのくじ引き

毎回人気の  
 カヌー大冒険



# Information 行こう 見よう 深めよう

10月14日 Friday

## YMCAフィランソロピー協会 「熊本城の真実」講演会

11

復興  
×  
講演

県内の異なる企業が集い、社会貢献を行うYMCAフィランソロピー協会が「今、あきらかになる熊本城の真実～熊本地震復興の足跡をたどる～」をテーマに講演会を開催します。熊本城はどのように生まれ変わろうとしているのか。3D計測データを活用した復旧の様子を熊本城調査研究センターの嘉村哲也氏に伺います。復興のシンボルである熊本城の今を通して熊本の未来について共に考えましょう。

回10月14日(金) 17:00～18:30

場KKRホテル熊本(熊本市中央区千葉城町3-31)

費無料 定30名

回10月10日(月)までにWebサイトからお申込みください。

場YMCAフィランソロピー協

会事務局 熊本YMCA ICR

Tel 096-353-6397



写真提供:熊本城総合事務所

YMCAフィランソロピー協会は、熊本の地域社会において企業人のボランティア活動とボランティア団体の活動を支援することを目的に1995年に設立されました。協会では、会員企業に対し、社会貢献活動の各種情報や参加機会を提供するとともに、会員企業の親睦と連帯を図るため、様々な主催事業に取り組んでいます。現在、熊本県内の企業・団体が在籍。入会に関するお問い合わせは事務局(熊本YMCA)まで

**[主な活動内容]** 新入社員ボランティア入門講座、フィランソロピーセミナー、児童養護施設の子どものための支援、フェアトレード推進、企業交流、使用済み切手収集など



新入社員を対象としたボランティア入門講座

11月12日 Saturday

## 自然とふれあう YMCA尾ヶ石保育園 学びの森

11 15

阿蘇  
×  
野草

子どもたちに緑化推進と生物の多様性の大切さを学んでもらおうと、「YMCA尾ヶ石保育園 学びの森」と題してワークショップを行います。ネイチャーゲーム指導者や薬草研究の専門家と共に、秋の阿蘇で自然とふれあいましょ。



回11月12日(土) 少雨決行

場YMCA尾ヶ石保育園(阿蘇市狩尾)

回(予定)

10:00 開会式

10:10 ワークショップ① ネイチャーゲーム体験

森の小径の散策

ワークショップ② 薬草の説明・摘み取り 等

12:00 薬草を材料にしたピザづくり、薬草紅茶の味見

13:00 植樹

15:00 閉会式

※天候等により変更する場合があります

定30名

主催 阿蘇地域資源利活用事業推進協議会 協賛 一般財団法人熊本学校、特定非営利活動法人ヒューマン・ライフ・スクール

場 YMCA尾ヶ石保育園 Tel 0967-32-0213

## YMCAウエルネス

3 4

### 秋こそみつける!じぶん流健康ライフ 秋の入会キャンペーン

期間中にYMCAウエルネスにお申込みの方限定の特別キャンペーンを実施します。

回10月17日(月)～11月30日(水)



みなみセンター(南区田迎)

特典通常1カ月9,480円が3カ月パック11,700円(税込)

ながみねファミリーセンター(東区長嶺南)

特典通常1カ月7,150円が3カ月パック8,700円(税込)

※お申込みには条件があります。 ※各拠点の利用時間等の詳細はWebページをご覧ください。

※登録料1,650円(初回)、システム手数料440円(月額)が別途必要です。

場 Tel 096-353-6391(音声ガイダンス みなみセンター 2/ながみねファミリーセンター 3)

### 成人ウエルネス×こどもプログラム 親子会員募集

親子会員とは

子どもクラスに通うお子様の保護者(YMCA水前寺幼稚園・YMCA熊本五福幼稚園・ぶどうの木幼児園)を対象とした成人ウエルネスの会員システムです。



子どもクラス保護者限定 大人費用

みなみセンター

5,300円/月

ながみねファミリーセンター

3,650円/月

YMCAウエルネス  
Webページ▶

回日時 場会場 回内容 費参加費 定定員 回参加条件 回持ち物 回対象 回主催 回締切 回申込 回問合せ 回その他

## R | E | P | O | R | T

[ 8月10日⇒ 9月6日 ]

子ども

## 児童養護施設の子どもたちのために おしごとカフェを開催

4 8

異なる企業の社員同士がともに集い社会貢献を行うYMCAフィランソロピー協会が、8月10日(水)、児童養護施設で暮らす小学5年生～高校生のための職業説明会「おしごとカフェ」を開催しました。子どもたちの自己決定力を育み、彼らの自立と就労を応援することを目的に2019年にスタート。第5回を迎えた今回はYMCA本館を会場に3年ぶりの対面開催となりました。

YMCAフィランソロピー協会の会員企業をはじめとする7企業・団体が参加。企業のアピールとマナー

講座の後、各企業・団体のブースを子どもたちがまわり、実際の仕事や働き方などについて説明を聞きました。

中学生の参加者からは「ぼんやりとしか分かっていなかった仕事について知ることができてよかった」との感想が聞かれ、児童養護施設の職員の皆さんからは「子どもたちが積極的にブースをまわることができていて、よい経験になった」「子どもたちが将来を考える機会になった」などの感想が寄せられました。

職員 辻健太郎



専門学校

## 観光を学ぶ学生たち 市長を迎えて意見交換

8 11

熊本YMCA学院ホテル観光科では9月2日(金)、熊本市長の大西一史さんとの意見交換会を開催しました。ホテルや観光業に就職する学生が、私たちの地域をより好きになること、自信をもってお客様と会話ができるようになることを目的に企画。カリキュラムである「地域における観光関連ビジネス」に関連して「熊本市の観光的魅力とこれから取り組むべきこと」と題し、大西さんによる講演が行われ、その後、意見交換をしました。

大西さんから「観光産業を担っていく皆さんは現

場を知る事が大切。地域の多様な情報を発信し、提供する人こそが大切で、これから必要な人材です」とのアドバイスが送られ、学生からは熊本の観光資源のポイントや、市長が感動したサービスなど沢山の質問が飛び交いました。フランス出身の学生からの質問やフィリピン出身の学生へ大西さんから名物料理に関する逆質問もあり、留学生にとっても大変貴重な機会になりました。今後も学生たちが観光業に関する学びを深めてくれることを願っています。

職員 藤井千秋



懇談

## 太平洋横断の全盲セーラー 岩本光弘さんと学生が交流

3 10

2019年にアメリカ人男性とのペアでヨットでの太平洋横断に挑戦、成功した全盲セーラーの岩本光弘さんが9月6日(火)にYMCA本館を訪問。熊本YMCA学院の学生や、ユースリーダーたちと懇談しました。天草出身の岩本さんが学生時代に熊本YMCAの英会話教室で学んでいたことから実現しました。

13歳の時から視力を失いはじめ、16歳の時に全盲になった岩本さん。「視力を失い、歯ブラシに歯磨き粉をつけることもできなくなった時、これからは

人の世話になるだけの存在になるのだと絶望しました。でも何度もやるうちに、ある日、歯磨き粉がつけられるようになったんです。今できないことが一生できないわけではないんだと気づき、希望が生まれました」と語りました。その後のヨットとの出会い、太平洋横断挑戦までの道のりを語るとともに、「将来の感動を100倍1000倍にするために今の苦労があります」「根拠がなくてもいい。自信を持ちましょう」「絶望は必ず希望につながる」と語りかけました。

職員 中村賢次郎



## COM・PASSION II

おもいやりとやさしさ Vol.11

総主事 光永 尚生



## 希望と勇気と Some Money

NHKの「映像の世紀バタフライエフェクト」という番組はご存じですか。以前、映画俳優で喜劇王と呼ばれたチャーリー・チャップリンの「独裁者」にまつわる話がありました。チャップリンは、トーキー時代の映画俳優なので、通常は、音声のない映画で観客を魅了していましたが、

最後まで悩んだ末に、「音声のある映画として」独裁者の中で、ヒトラーの演説するシーンを撮影しました。彼は、最後まで考え抜いて、本番ぎりぎりになって、自らの意思で原稿を書き換え、見事に本番の中でナチスドイツ=ヒトラーに対しての明確な反対のメッセージを発信しました。映像では、似ている2人の表情の対比が印象的でした。

今から35年前に私が熊本YMCAに入職した際に、経理の先輩職員が、「新人の皆様にお伝えします。私たちの熊本YMCAでは、業務を遂行していく中で、希望と勇気とSome Moneyが必要です。そして、熊本YMCAは熊本バンドの精神を受け継いでいます」とおっしゃったことを明確

に覚えています。私たちのYMCAは、地域に根差し、世界を見つめて活動しています。その中で必要なものが、「希望と勇気とSome Money」であり、民間の社会教育関係団体としての、私たちの有り様を示しているのです。

チャップリンは、喜劇王と呼ばれていましたが、その瞳の奥には、力強い「希望の灯」がいつも灯り、その演技=行動には、「勇気あるAHO」の態度が見て取れます。いつも「A」明るく・「H」朗らかに・「O」おおらかにしながらも、私たちは、その瞳の奥の灯と勇気ある行動、そして民間の団体としてSome Moneyを忘れずに、歩んで行かなければならないと、チャップリンの力強いメッセージに勇気づけられています。

## 熊本YMCA学院 日本語科スピーチ大会

9月13日(火)、YMCA学院日本語科に通う留学生たちのスピーチ大会が日本キリスト教団熊本草葉町教会を会場として行われ、予選を突破した8名がそれぞれの夢や日本で経験したことについて発表しました。2名のスピーチ内容を抜粋して紹介します。

### 子どものように生きる

「ごはんだよ!」何度も母に呼ばれても返事をしなかった私は、一生懸命に積み木で自分の家を建てていました。その6歳の頃の私は母にこんな文句を言われていました。「もう!何度も呼ばせないで。聞こえないの?」。それほどの集中力は、今、大人になった私が失ったものです。年齢と共に悩みも増えてきました。「大学で全てAをとらなければ、親戚に笑われちゃう」、「周りの役に立たないと、価値がない」などの声がずっと頭の中で繰り返し聞こえ、自分に厳しい評価をしていました。その時の私は、最初の夢を追いかける純粋な情熱を忘れて、周りの人の評価に振り回される人になっていました。

ある日うちへ帰る途中の公園でままごとをしている子どもたちを見て、幸せに過ごすヒントを見つけました。子どもたちの、自分の気持ちにしたがって思うままに行動することや、今のこの瞬間を全力で楽しむこと。6歳の頃の自分が目の前の積み木で家を建てていたように全身全霊で目の前のことに取り組むことは私が忘れてはいけないことです。

大人は子どもに多くのことを教えますが、大人の私が子どもに大切なことを教えてもらいました。



チョウ シランさん  
(中級クラス 中国出身)

### 私の夢

私の夢は、心が強い人になることです。私にとって、人生の中で大切な物はお金でも、いいキャリアでもありません。心が強くなかったら、幸せにもなれないと思います。心が貧しかったら、いくら素敵な生活でも、いつもほしい物のことばかり考えていて、ずっと満足できないと思います。

私は子どもの頃、小動物を捕まえるのが好きでした。当時は自分が小動物より強いと思っていたからです。ある日、お腹を空かせた野良犬を見たとき、生きるために何か食べたいと思っているように見えました。この犬は少しの食べ物しかほしがっていませんでした。それに対して私は食べ物以外にいろいろなものが無かったら、生きていくことが難しいと思いました。その瞬間、私は彼らほど強くないことに気づきました。

心が強い人は心が豊かだと思います。ショックなことがあっても、新しく前に進んで行くことができます。心を強くすることは難しいことです。いろいろなことに挑戦して、経験して、成長できると思います。大切なものは心ですから、私は失うことを恐れませんが、心が強くなったら、満足した状態でいられると思います。ですから、私は心が強い人になりたいです。



キョ ヨシキさん  
(初級クラス 台湾出身)

### YMCA阿蘇キャンプ70周年記念特集 3

## 阿蘇キャンプ改修計画



70周年を迎えたYMCA阿蘇キャンプは次の時代の子どもたちが素晴らしい体験ができるように、下記のとおり施設修繕を予定しています。

- キャビンの改修
- 施設のユニバーサルデザイン化
- 野外炊さん場に多目的施設を設置
- キャンプ場内の樹木整備 等

募金のご協力をお願いいたします。

YMCA阿蘇キャンプ70周年記念募金の詳細はWebページをご覧ください。(2022年8月~23年6月) ※クレジットカードによるWeb募金が可能になりました。

〒YMCA阿蘇キャンプ Tel 0967-35-0124



共育力

聖書で最も大切な教えは、「神を愛すること」と「人を愛すること」の2つです。イエスがこう教えたのは、信仰は奉仕があってこそ健全であり、奉仕は信仰がなければ偽善に陥るからです。イエスの教えは新しいものではなく、大昔に生きたアブラハムがすでに実践していました。アブラハムの家の前を神様が旅人の姿になって通り過ぎるといふ話があります。アブラハムは見ず知らずの旅人をもてなし、そうし

て神の祝福を受けました。では、私たちの生活に置き換えるとそれはどんなことなのでしょう。今、日本にはこれまで以上に外国の方が来られています。観光だけでなく、労働者としてもそうです。外国人技能実習制度の影響もありますし、熊本では台湾の半導体会社TSMCの工場ができる関係で外国の方が身近になりました。そのような外国の方を迎え入れることも、隣人愛の1つではないかと思っています。

YMCAのYはヤング「若い」を意味しますね。私は年齢のことだけではないと思っています。若さとは、新しいものへの興味であり、違いを受け入れる喜びであり、学び続ける姿勢だと考えています。

外国の方に日本のやり方を押し付けるような教育ではなく、互いに良さを学び合う共育こそ、新しい時代の力だと信じています。

## わたしと聖句

ルカによる福音書10章27節

彼は答えた。「心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい」とあります。」



日本キリスト教団熊本草葉町教会  
森嶋道

発行所／(公財)熊本YMCA  
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1  
TEL 096-353-6397(代)  
発行人／光永 尚生 編集人／辻 健太郎  
定価60円 購読料は会費に含む

www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

### 熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動  
地球環境の保全 ウェルネス活動 平和な世界

### 2022年度基本聖句

イザヤ書 40章31節

主に望みをおく人は新たな力を得 鷲のように翼を張って上る。  
走っても弱ることはなく、歩いても疲れぬ。